

2017年6月4日 メンバー：0、F 計2名

朝6時F邸を出発。鉢巻線を通り野辺山經由毛木平駐車場へ。野辺山駅前では以前川上村に行ったことでの先入観にて駅手前を右折してしまっただが、実際は左折。そこから左右に広がるレタス畑をひたすら通りナナズというショッピングセンター脇を右折。そこからもレタス畑を通り林道を抜けて駐車場に到達したが7時半の時点で奥の駐車場はいっぱい。手前からすでに路駐状態。しかも止まっている車はほとんどは都市圏の車。車種もオフロード車というよりは、普通の自家用車ばかり。これは、石楠花を見に山ガールや若者が多いのかと思えば実際歩いてみると、割と年配の方が多い。

7時45分出発。樹林帯は、よく整備されていて歩きやすい。歩きはじめは山の中も雪解けが終わりこれから下草が生えてくると言う感じで、緑も少ない。駐車場と路駐の車の量からすると、毛木平から十文字小屋方面に向かう時に会う人の数は意外に少ない。ここは、甲武信、三宝山、大山と周遊できるので、意外と十文字小屋ピストンよりも、甲武信方面へ行く人の方が多いのか。本日は日曜の為前日から駐車的人也多いはず。10時に峠到着。小屋では甘酒の販売があったので珍しいので飲んでみる。小屋の周りの石楠花も咲き始めていた。小屋ではテン泊も出来るのか2、3テントあり。小屋で乙女の森の情報をもらい、乙女の森に向かう。石楠花の群生地はこらしい。石楠花は背が高くなっている為、群生を見る為2箇所をやぐらが立てられ、やぐらに登り上から見下ろすことが出来る。ちょうど満開のジャストのタイミング。なかなかこんな時に来れる事は無い。その後、大山に向かう。なかなかの悪路と岩。ロープを出すほどではないが、登り、下り融通しないと登れない。大山に行く途中、同じ労山のまみくといのパーティーと出会う。長野県の最東の峠を目指していると言う。聞くと、東西南北やっているらしい。なるほど。長野県の大きさが知れて面白いと思う。大山では、八ヶ岳、男山、小川山等普段見られない角度より山が見れた。のんびりとしたリラックスした休日を過ごした山行きであった。駐車場に戻ってくると、林道の埃の為車は、砂だらけ。ペットボトルの水でフロントガラスのホコリを落とす。帰宅後は洗車場へ。何わともわれ咲いている石楠花をみたのは初めてだったので、目の保養ができた一日であった。

コースタイム

駐車場発 7:45 十文字小屋 10:00 大山 11:30 大山出発 12:30 十文字小屋発 13:00
駐車場 15:00

